

令和3年度 小児生活習慣病予防健診の結果(概要)がまとまりました。

1 健診の目的

小児生活習慣病のハイリスクの子どもの早期発見と、全ての児童・生徒及び保護者に対して効果的な健康教育を実施し、将来の生活習慣病の発症を予防する。また、市町等が実施する小児生活習慣病予防健診結果をもとに、子どもの生活習慣病の実態を把握し、今後の改善策や予防策を検討するための基礎資料とする。

2 健診の概要

対象	小学校4年生	中学校1年生
参加事業者	17市町、香川大学教育学部	14市町、香川大学教育学部
参加人数	7,614人	3,107人
調査項目	身長、体重	
	血液検査（糖代謝、脂質、肝機能に関係する8項目） HbA1c、総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪、AST、ALT、 γ -GTP	
	生活習慣調査（食事、運動、睡眠、家族歴等に関する17項目）	

3 主な結果

◆小学校4年生

○検査結果について

- ・肥満傾向（男子14.9%、女子9.9%）、痩身傾向（男子1.8%、女子1.9%）
- ・脂質異常（男子10.2%、女子9.2%）
- ・脂肪肝（男子4.0%、女子2.6%）

○過去3年間で増加傾向にある生活習慣

- 食事（食事満腹度、夕食後の間食、食事で気を付けていること2項目以下）
- 運動（スポーツへの不参加、情報メディア等の利用時間）

○男女共に肥満と関連を認めた生活習慣

- 食事（朝食欠食、食べるはやさ、野菜の摂取、食事で気を付けていることの項目数）
- 運動（情報メディア等の利用時間）、睡眠（就寝時刻、睡眠時間）

◆中学校1年生

○検査結果について

- ・肥満傾向（男子13.4%、女子10.5%）、痩身傾向（男子2.0%、女子3.2%）
- ・脂質異常（男子9.1%、女子10.3%）
- ・脂肪肝（男子6.9%、女子2.5%）

○令和2年度と比べて変化の大きかった生活習慣

- 食事（食事満腹度、果物の摂取、夕食後の間食）
- 運動（有酸素運動、筋力トレーニング、情報メディア等の利用時間）

○男女共に肥満と関連を認めた生活習慣

- 食事（食べるはやさ、食事で気を付けていること（適正体重になるように食べる））
- 運動（有酸素運動）

※中学校1年生の健診は、受診した生徒が全体の4割程度であったため、健診結果は香川県全体を示すものではありません。また、令和3年度から新たに1実施主体が対象に加わり、令和元年度及び2年度とは対象が異なります。

※血液検査に異常値がみられたものであっても、ただちに治療が必要であることを意味するものではありません。

将来、生活習慣病にならないために、健診をきっかけに生活習慣の見直しを呼びかけます。